

# 令和2年度尚志館高等学校自己評価表

尚志館高等学校

教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、各自の資質を高め、国や社会に貢献できる人間を育成する
教育目標	志を常に高く持ち、多様化する時代に即応した教育、変化する社会の要請に応える教育、知・徳・体の調和のとれた教育により、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する
努力目標	①学習指導を徹底し、学力の向上を図る ②生活指導を徹底させる ③きめ細かな進路指導の徹底により、学力・適性に応じた進学就職の実現を図る ④部活動の推進・強化

## 1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める	3.5	校訓「不屈不撓」のもと、「凡事徹底」を全職員が意識して、各科がそれぞれの目標達成に向かって特色ある活動を行った。また、職員間の共通理解を得るために、情報共有のためのグループウェアを導入し、活用を促している。全職員で生徒、保護者の満足度を高めるための創意工夫に努め、各学科の卒業時の実績を重要視する。

## 2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う	3.6	担任、副担任で連携し、協力し合いながらクラス運営を行った。各科、各クラスにおいて独自の立案、活動ができる環境を整えつつある。最終的には生徒、保護者の満足度を高めるための努力を惜しまない。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する	3.6	年間授業計画をもとに、各クラスの特徴に応じた授業を展開、工夫している。今後、観点別評価についての設定方法、評価方法の共通理解が必要になる。指導者側の指導の到達点を明確にすることも必要である。  Society5.0を見据えた今後の学校教育の在り方に関連して、小学校、中学校段階で教育を受けてきた生徒に対応できる教職員側のICTリテラシー向上が課題である。また、学習活動の効果の数値的な検証、弱点の洗い出しも必要である。
			効果的な授業を行うために教材研究や研修を深める		
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる	3.6	生徒による朝の週番活動や美化活動など、生徒が主体的に活動する場面が増えている。コロナ禍においても工夫しながら、アイデアを出し、主体的に活動を企画した。  学校行事に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催方法の見直し、工夫をして運営した。修学旅行については、旅行先、日程の見直しを繰り返し、実施の方向で模索したが、感染拡大期間と日程が重複し、実施できなかった。
		学校行事の充実	効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒を育成する	基本的な生活の確立を図る	3.4	礼儀、言葉遣い、身形など、機会を逃がさないその場その場での指導が重要である。全体集合は各クラス間オンラインで実施しているが、全校生徒に対する礼法指導が必要である。  バイクのスピードの出しすぎ、一旦停止など、生徒指導、担任、副担任が一体となって継続的に指導することが必要。また、SNSの使用方法に注意させる。表面化しにくい部分があるため、状況把握に努めなければならない。
			交通ルールへの遵守、ネットモラルなど安全教育の徹底		
進路指導	進学・就職指導の充実	系統的・計画的な進路指導の実践	進路実現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う  生徒の能力や適性に応じた進学・就職指導	3.7	コロナ禍で就職試験開始が遅れたが、各科、担任、教科担当の連携をより密に図り、対応した。公務員対策では外部からの講師への依頼ができない学校が多い中、本校は本校職員のみで独自のカリキュラムをオンラインでも実施し、実績に繋がった。進路については、単に生徒の希望を聴くだけでなく、指導者側が様々な業界、職業についての見地を深め、直近の入試制度の詳細を掌握し、指導者から就職先、進学先について提案する力、「提案力」の向上が必要であり、そのためには指導者の高い情報収集能力、処理能力、ITリテラシーが不可欠である。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導の徹底	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる	3.1	感染症対策に関しては、具体的に何を、どのような状況でどこに注意するといった具体的な指示が実効力のあるものになる。悩みを抱える生徒に対しては教師側から声掛けが重要であり、職員間での情報共有、連携を図り、早期の対応に努めた。防災訓練は内容を縮小して実施。環境面では、昨年度から花壇の整備が進みつつあり、更に良い環境が整いつつある。定員を上回る入学者により、普通教室の確保に苦慮した。特に大人数の教室では、手狭な学習環境となった。仮設校舎建設等の検討も含め、来年度の課題である。
		体育指導の徹底	運動技能を高め、体力向上を図る		
		防火・防災訓練	防災についての意識の高揚を図る		
		環境衛生の整備	学習にふさわしい環境を整える		
広 報	広 報	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成 中高連絡会・体験入学の実施 中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施 ホームページ・Eメールの管理 PTA・中学生の訪問受け入れ	4.0	地区別説明会、体験入学、進学相談会、他、全職員による広報活動、ホームページの充実、在校生の実績等の効果で定員以上の入学生が確保ができている。今後も継続的にアイデアを出し合い、情報提供、発信を継続する。また、多くの生徒を受け入れている責任を重く受け止め、3年間で身体、精神面、学業面、部活動、その他の活動において、成長を後押しする指導を心掛ける。広報、宣伝するための根拠、実績を具体的に示す。教師の生徒への「一言」には責任が伴い、全ての言動が広報活動に直結することを理解する。
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的な参加を奨励し、学習との両立を図る  活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	3.3	新型コロナ感染症拡大のため、活動の場が奪われた。予定していた練習、大会が実施できない状況があった。部活動に関しては競技力の向上はもちろん、挨拶、礼儀、清掃作業への模範的な取り組み、コミュニケーション力の育成、その他、社会に適応する力を育成するという指導者側の意識が不可欠である。
評 価				3.5	